

【選考理由書】

組織名称： 清川メッキ工業株式会社
主な事業： メッキ製造・開発・加工
従業員数： 211 名
認証取得： ISO 9001 (1994 年)、ISO 14001 (1997 年)

1. 事業の特性

1963 年創業、機械・電子部品へのメッキから事業開始し、その後半導体部品、最近では医療器具や自動車用パワエレデバイス部品へのメッキに展開している B to B 型企业である（電子部品のメッキが総生産量の約半分を占める）。不良解析やメッキ評価などの受託分析も行っている。本社（福井市）森田工場の 2 拠点で、6 製造部、技術部、品質保証部、総務部の組織（営業は各製造部が行っている）。全国鍍金工業組合連合会を通じた ISO 認証の普及にも力を入れている。QMS 導入以前は、大手企業の下請けを脱却できず、新卒社員の退職率が高いことが課題となっていた。

2. マネジメントシステムの特徴

第一の特徴は、未来志向の「I ビジョン経営」である。トップがビジョンや方針を提示し、部門長、チーム、個人がこれを具体化し、社員（一般社員）から経営層へのフィードバックをかけながら共同で目標とそれを達成する計画をまとめている。その上で、I ビジョン・キャンパスボードと呼ばれる掲示板に、会社、部門、チーム、個人のビジョンや目標、その進捗状況を掲示し誰もがみられるようにしている。

第二の特徴は、部課長・経営層による人材育成強化活動である。各人が月単位のビジョン・目標達成計画とその実施状況を A4 一枚にまとめ、それを部門長が随時見て指導・支援している。また、部門ごとに必要力量項目を特定し、個人ごとの力量レベルを「診せる化・魅せる化」して掲示することで、力量向上へのモチベーションアップをはかっている。

第三の特徴は、トップダウンのスピードとボトムアップの機動力の発揮のため、社員を中心としたダイヤモンド組織の考え方（経営者・管理者が方向性を示すとともに実施を支える）を導入し、部門横断の委員会で活動を展開している点である。また、PDCA を進化させ、SAPDCA(Study-Action PDCA)という通常の PDCA の前に計画の実現性を高めるための調査・検討や試行を行うステップを加えることでイノベーションを促進している。

3. 成果

3K 職場とのイメージがある中、人材育成強化等により、新卒社員の退職率は、1998 年の 1/6 に激減することができている。また SAPDCA により多くの技術革新を実現したこと、I ビジョン経営の実践によって顧客信頼を得たことなどから、1998 年に比べ 17 倍の顧客数を確保している。さらに、品質に関する生産量あたりの異常件数や苦情件数も、ここ数年で大幅な減少を果たしている。この結果、株式会社設立以来、45 年間赤字のない健全経営を維持している。

以上より、清川メッキ工業株式会社の QMS 活動は、事業の特性に応じた特徴のあるマネジメントシステムを構築・運営することで着実な成果をあげており、高く評価できる。